

平成26年10月17日

保護者の皆様へ

広島市立祇園中学校
校長 絹谷 徹

「基礎・基本」定着状況調査の結果について

今年度も6月に県下一斉に「基礎・基本」定着状況調査が行われ、結果の集計がまとまりました。調査は、国語、数学、英語と今年度は理科が追加され、1学年終了時の基礎学力調査のほか、「生活と学習についての調査」を実施しました。

教科についての基礎学力の定着状況や、生活についての意識を把握し、今後の指導に生かしたいと思います。保護者の皆様におかれましても、ご家庭でこの調査結果を参考にいただき、本校教育の推進にご協力を賜わりたく存じます。

《教科》

教科の基礎学力調査は、正答と準正答（考えは合っているが正答ではないもの）を併せて「基礎・基本」が定着したとみなし、その割合である「通過率」で示しています。

今回の調査では各教科とも以下のような調査結果が出ました。この結果をもとに教科指導の工夫・改善を行っていきます。

教科 通過率	領 域				
	祇園中平均通過率 (広島県平均通過率)				
国語 74.4% (73.7%)	聞くこと 84.1% (82.0%)	書くこと 59.7% (65.0%)	読むこと 60.4% (57.3%)	言語事項 79.1% (79.4%)	書くこと読むこと 76.8% (73.5%)
数学 65.5% (70.2%)	数と式 74.8% (80.2%)	図形 63.4% (66.3%)	関数 66.6% (66.6%)	資料の活用 56.7% (61.3%)	資料の活用・数と式・関数 45.6% (52.7%)
理科 55.1% (55.0%)	生物 59.5% (57.4%)	化学 45.1% (45.5%)	物理 59.6% (60.3%)	地学 56.2% (56.9%)	
英語 68.6% (68.2%)	聞くこと 71.7% (71.0%)	読むこと 71.6% (73.9%)	書くこと 63.3% (63.8%)	話すこと(実技) 89.3% (85.1%)	読むこと書くこと 52.0% (51.8%)

教科全体の通過率は国語・理科・英語は県平均を上回っていました。また、領域によって県平均を超えている領域と超えていない領域がありました。この結果をもとに、これから取り組んでいくことは何かを考えるきっかけとなりました。

この「基礎・基本」定着状況調査の結果を受けて、調査の行われた教科の課題を明らかにし、今後の教科指導においてどのようなことを重点的に取り組んでいくかをお知らせいたします。

国語科

<重点課題>

- ◎「書くこと」については、叙述の仕方をとらえる設問の通過率が低くなっている。必要に応じて適切に書き換える力を身につける必要がある。
- ◎「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、主語・述語の関係を正確に把握することができるようにする必要がある。
- ◎「書くこと読むこと」に関しては、文章の展開を的確におさえることができるようにする学習を継続する必要がある。

<重点課題を受けた取り組み>

- ①自分の考えを明確に表現するために、意味のまとまりや段落の役割を考えて文章を書くように指導する。また、文章を互いに読み合い、構成や書き方を工夫した点について交流したり、助言し合ったりする学習活動を仕組む。
- ②書く学習の際に、主語と述語の照応や、修飾語と被修飾語の照応を文脈の中で確かめさせる。文の成分の照応を意識して推敲させる。
- ③文章の構成や展開、表現の特徴などに注意して読むように指導する。

数学科

<重点課題>

- ◎資料から情報を読み取り、自分の言葉で説明することが苦手である。
- ◎数学の基本的な用語の理解が不十分な生徒が多い。
- ◎数量の関係性を文字式で表すことが苦手である。

<重点課題を受けた取り組み>

- ①根拠を明らかにしつつ、自分の考えを発表させる練習を行う。
- ②ペアで説明をし合うなどすることで、知識の定着を図る。
- ③イメージを膨らませながら、文字式に結びつけていくよう指導する。

理科

<重点課題>

- ◎重要語句はよく復習し記憶されているが、実験・観察の操作に関しては、なぜそのような操作をするのか、操作の目的が十分に理解されていない。
- ◎実験の「結果」と「考察」が混同され、実験で確かめていないことを解答に記入している。

<重点課題を受けた取り組み>

- ①問題を明確にして、見通しを持たせた実験・観察を多く取り入れる。
- ②実験・観察の操作の目的をしっかりと考えさせる。
- ③実験の「結果」と「考察」をわけて考え、結果に基づいた考察をするように指導する。
- ④復習の時間を定期的に確保する。

英語科

<重点課題>

- ◎まとまった会話文を聞いて、内容を理解したり、質問への適切な応答をしたりする力が乏しい。
- ◎話の流れをつかみながら、的確に読み取る力が乏しい。
- ◎場面に応じた適切な表現を用いて英文を書いたり、自分の言いたいことや考えを伝える英文を書いたりする力が乏しい。

<重点課題を受けた取り組み>

- ①意識的に英文を聞かせ、英文に慣れさせる。習得した内容を使っての会話練習をできるだけ多く取り入れ、色々な表現パターンを身につけさせる。
- ②「相手が何を伝えようとしているか」などを考えながら、英文の内容を細部にとらわれず、大意をつかむ読み方の指導を継続して行う。
- ③英文日記やスピーチ、身の回りのことなどについての自己表現の場をより多く設けることで、場面に応じた適切な表現力を身につけさせる。